

判定区分(2018年4月1日改定予定案)

項目		A異常なし	B軽度異常	C要経過観察・生活改善	D要医療 D1要治療・D2要精検 1	E治療中*7	改定(資料参照)
体格指数 (BMI) kg/m ²		18.5-24.9		18.4以下, 25.0以上			
腹囲 cm	男性	84.9以下		85.0以上			
	女性	89.9以下		90.0以上			
血圧 mmHg (2回測定:平均値)	収縮期	129以下	130-139	140-159	160以上		
	拡張期	84以下	85-89	90-99	100以上		
心拍数(仰臥位) 回/分		45-85		40-44, 86-100	39以下, 101以上		
視力(裸眼, 矯正両方の場合は矯正で判定)(悪い側で判定)		1.0以上		0.7-0.9	0.6以下		
聴力 dB	1000Hz	30以下		35	40以上		
	4000Hz	30以下		35	40以上		
呼吸機能 (スパイロメトリー) 小数点1ケタ表記に変更 *2	1秒率(%)	70.0以上			69.9以下		
	%1秒量(予測1秒量に対する%)	80.0以上 (1秒率70.0%以上)		80.0以上 (1秒率69.9%以下)	79.9以下		1ページ 項番1
	%肺活量(%)	80.0以上			79.9以下		
総たんぱく g/dL		6.5-7.9	8.0-8.3	6.2-6.4	6.1以下, 8.4以上		1ページ 項番2
アルブミン g/dL		3.9以上		3.7-3.8	3.6以下		1ページ 項番2
クレアチニン mg/dL (eGFRを優先して判定) (小数点2ケタ表記に変更)	男性	1.00以下	1.01-1.09	1.10-1.29	1.30以上		
	女性	0.70以下	0.71-0.79	0.80-0.99	1.00以上		
eGFR(mL/分/1.73m ² による) (小数点1ケタ表記に変更)		60.0以上		45.0-59.9	44.9以下		2ページ 項番3
尿酸 mg/dL		2.1-7.0	7.1-7.9	2.0以下, 8.0-8.9	9.0以上		2ページ 項番4
総コレステロール mg/dL *3		140-199	200-249	220-259	139, 260		3ページ 項番5
HDLコレステロール mg/dL		40以上		35-39	34以下		3ページ 項番6
non-HDLコレステロール mg/dL		90-149	150-169	170-209	89以下, 210以上		3ページ 項番7
LDLコレステロール mg/dL		60-119	120-139	140-179	59以下, 180以上		
中性脂肪 mg/dL		30-149	150-299	300-499	29以下, 500以上		4ページ 項番8
AST (GOT) U/L		30以下	31-35	36-50	51以上		4ページ 項番9
ALT (GPT) U/L		30以下	31-40	41-50	51以上		4ページ 項番9
γ-GT (γ-GTP) U/L		50以下	51-80	81-100	101以上		4ページ 項番9
FPG(血漿) 空腹時血糖 mg/dL		FPG:99以下 かつ HbA1c:5.5以下	1) FPG:100-109かつHbA1c:5.9以下 2) FPG:99以下かつHbA1c:5.6-5.9 1), 2)のいずれかのもの	1) FPG:110-125 2) HbA1c:6.0-6.4 3) FPG:126以上かつHbA1c:6.4以下 4) FPG:125以下かつHbA1c:6.5以上 1)~4)のいずれかのもの *5	FPG:126以上 かつ HbA1c:6.5以上		
HbA1c % *3							
赤血球数 10 ⁴ /μL	男性	400-539	540-599	360-399	359, 600		4ページ 項番10
	女性	360-489	490-549	330-359	329, 550		4ページ 項番10
白血球数 10 ³ /μL		3.1-8.4	8.5-8.9	9.0-9.9	3.0以下, 10.0以上		4ページ 項番10
血色素量 g/dL	男性	13.1-16.3	16.4-18.0	12.1-13.0	12.0以下, 18.1以上		4ページ 項番10
	女性	12.1-14.5	14.6-16.0	11.1-12.0	11.0以下, 16.1以上		4ページ 項番10
ヘマトクリット %	男性	38.5-48.9	49.0-50.9	35.4-38.4	35.3, 51.0		
	女性	35.5-43.9	44.0-47.9	32.4-35.4	32.3, 48.0		
血小板数 10 ⁴ /μL		14.5-32.9	12.3-14.4, 33.0-39.9	10.0-12.2	9.9以下, 40.0以上		4ページ 項番10
CRP mg/dL (小数点2ケタ表記に変更)		0.30以下	0.31-0.99		1.00以上		
梅毒反応		陰性			陽性		
HBs抗原		陰性			陽性		
HCV抗体		陰性			陽性		

項目	A異常なし	B軽度異常	C要経過観察・生活改善	D要医療 D1要治療・D2要精検 1 *	E 治療 中 *7	改定(資料 参照)
尿蛋白	(-)	(±)	(+) *4	(2+) 以上		6ページ 項番11 6ページ 項番11 6ページ 項番12 「回」を「日」 に記述変更
尿潜血	(-)	(±)	(+) *4	(2+) 以上		
尿糖	(-)	(±) 以上 *5				
便潜血 2日法	1日目・2日目	(-)		いずれか (+)		
子宮頸部細胞診	ベセスダ分類	NILM	不適正標本=判定不能(すみやかに再検査)・ASC-US *6	ASC-H, LSIL, HSIL, SCC, AGC, AIS, Adenocarcinoma, Other malig		

*1 値の高低、所見よってのD1要治療、D2要精検のいずれを採用するかは任意とする

*2 呼吸機能検査は検者、被験者の良好の関係が数値を微妙に変えるので注意する
また、1秒率、%1秒量の組み合わせで閉塞性障害の重症度を判定する
1秒率が70%未満かつ%1秒量80%以上が軽症、79%以下が中等症以上と判定する
1秒率、%肺活量の組み合わせで閉塞性、拘束性、混合性換気障害と判定する

*3 総コレステロールよりLDLコレステロール判定を優先する

*4 判定区分でのHbA1cの表記はNGSP値である。HbA1c(NGSP値)は $=1.02 \times \text{JDS値}(\%) + 0.25\%$ で変換可能である

*3 空腹時血糖、HbA1c併合判定C区分の3)4)と判定した場合はOGTTを推奨する

*4 尿蛋白が(+)かつ尿潜血が(+)である場合は、尿蛋白をD判定とする。

*5 血糖もしくはHbA1c同時実施での判定区分である。

*6 採取器具は綿棒ではなくブラシ、へら、サイトピック等を使用し、可能であれば液状化検体法(LBC)にて検体を保存する
不適性標本はすみやかに再検査、ASC-USはHPV-DNA検査あるいは6か月後再検査とする

*7 治療中の場合はE判定とする

** 眼圧の基準範囲は9~20mmHgであるが、緑内障の7割がこの範囲内にあるので、判定区分を設定していない

** 総ビリルビンについては中等度までの上昇では値に比例して死亡率の減少、動脈硬化予防となるので判定区分を設定していない

** ALPIについては、年齢、性、血液型等によって基準範囲が大きく異なる為、判定区分を設定していない

項目	検査方法
総たんぱく	Biuret法
アルブミン*	BCG法、BCP改良法
総コレステロール	酵素法
LDLコレステロール	直接法(非沈殿法:可視吸光光度法、紫外吸光光度法)
HDLコレステロール	直接法(非沈殿法:可視吸光光度法、紫外吸光光度法)
中性脂肪	酵素比色法、グリセロール消去(可視吸光光度法、紫外吸光光度法)
クレアチニン	酵素法
尿酸	ウリカーゼPOD法
AST(GOT)	JSCC標準化対応法
ALT(GPT)	JSCC標準化対応法
γ-GT(γ-GTP)	JSCC標準化対応法
空腹時血糖	酵素法、電極法
HbA1c	ラテックス凝集比濁法、HPLC法、酵素法
梅毒反応	梅毒脂質抗原使用法
CRP	ラテックス凝集免疫比濁法、免疫比濁法、免疫比濁法

*アルブミンのBCG法とBCP改良法の差異は下記を参照

<http://www.jslm.org/others/news/20131225albumin.pdf>

**胸部X線、上部消化管エックス線、上部消化管内視鏡、腹部超音波、心電図、眼底の画像健診判定マニュアルについては、日本人間ドック学会ホームページを参照